

新会長に後藤(鉦)氏、見玉理事長は続投

協会・組合が通常総会を開催

優秀従業員被表彰者は6名

協会及び組合では、5月26日午後から名古屋国際ホテルを会場に通常総会を開催。上程議案はいずれも異議なく承認され、役員改選では、タイセイプラスの後藤鉦一郎氏(前副会長)が協会の新会長に選任され、組合は、見玉理事長が再選された。

総会の後には、『第5回優秀従業員表彰』が举行された。なお総会前の講演会では、エストコミュニケーションスクール主席講師服部千代氏を講師に招聘し、テーマ「人のハートをつかむ話術」を、①発声②立居振舞い③話し方を3大ポイントとして聴講した。

組合の第46回通常総会では、議案審議はいずれも原案通り承認された。見玉理事長は、22年度技能検定実技受検者数は937名を数え、断トツで全国第1位をキープしている。他事業の推進も図るべく、引続き支援と協力を願いたい旨、挨拶で述べた。



総会会場

次いで開催された協会の第39回通常総会では、はじめに後藤(壽)会長が挨拶。上向きかけた景気も、ギリシャショックの影響が懸念される。今後は、現状の見直しと取捨選択が肝心とし、10年間の組合副理事長・理事長・協会会長在任期間を振り返った。



挨拶する後藤新会長

引続き、議長席に着き議案審議へ移り、原案通り異議なく承認された。また新任の挨拶に立った後藤(鉦)会長は、東西地区は5%程度会員が減少している。当地区はプラマイゼロであるが、相撲界をとってみても、レナウンの買収をとってみても、日本の軽薄化が感じられ、改めて維持する事の大切さを痛感する。今後の事業運営については、県、市の機関ともwin winの関係で取組んで行きたい。

さらに、忌憚のない意見と、協力を願い業界の発展につとめたい。

総会後の『第5回優秀従業員表彰』では、各事業所においてその事業所の発展に寄与し、多大な功績のあった従業員を事業所の推薦により表彰しているもので、今回の被表彰者は6名。

後藤(壽)会長から、改めて本当のモノづくりの基本とは?というテーマに取組んで、見直ししながら、後進の指導に当たって欲しい旨挨拶



被表彰者の皆さん

があり、引続き会長自ら各被表彰者の席の前で表彰が行われた。

表彰の後は、来賓代表の中部経済産業局産業部製造産業課岡本課長、愛知県産業労働部地域産業課高須課長より祝辞があり、更なる研鑽と、企業、組織、業界の発展へのはなむけの言葉が贈られ、以上で閉会。

講演会の後会場を移動して懇親パーティーが開かれ後藤新会長の開会挨拶の後、春の叙勲で瑞宝単光章を受章した東海化学工業の小川憲児氏の紹介があり、名古屋市工業研究所濱田所長の乾杯の音頭で懇親に入った。

【優秀従業員被表彰者】

横山 修 (オプコ)、長屋 博昭 (ゴトープラスチック)、青島 英則 (オハラ樹脂工業)、中村 壽男 (千代田合成)、伊豫田 涼子、高木 洋子 (名豊化成)。(敬称略)

全身全霊を言葉に乗せて

講師に服部千代氏招へい

「人のハートをつかむ話術」聴講

「みなさま、こんにちは～」と、のびのある

ISONO いそのプラスチック材料

有限なる資源を限りない人生の幸福のために

いその株式会社
 名古屋市東区相生町55 〒461-0012
 TEL<052>931-1211(代)
 FAX<052>930-1975

声が快く耳に入ってくる。これが服部講師の第一声である。テレビ、ラジオ、司会など、27年間『話す』仕事に携わっている。

話すと言う事は、自分自身の全身全霊を言葉に乗せなくてはいけない行為だと、改めて思い知らされたエピソードを紹介。大手結婚式場の社員研修で、8会場ではほぼ同じ内容でも、その時の自分の微妙なコンディション、聴く側から伝わる空気によって、話し方、気持ちの乗せ方が変化してしまう。本来は、同じテンション、モチベーションでいかなければならないのだが…話す側がハートをつかんでいれば、聴く側の手応えを明確に感じ取れるもので、喜んでいただこうと思う気持ちがあってこそ、その後に乗ってくるのが話術であり、テクニックであると説いた。

講演はレジュメを基に、まず話をする「心構え」として、①相手の立場、レベルに立って話すーなど、4点が上げられ、次いでひとのハートをつかむ「声」「立振舞い」「話し方」と大別して実技も含めて進められ、また、ひとのハートをひらくには①挨拶にひとこと言葉を添える②相手の名前を会話に入れて存在感をアピールする③非言語的コミュニケーション-この3つがキーポイントであると伝授した。

ひとのハートをつかんで話すこと、ここからビジネスチャンスが生まれ、企業の成長に繋がれば… そんな気持ちが込められた講演となった。



講師の服部千代氏



就任のご挨拶

会長 後藤 鉦一郎

この度、通常総会で、中部日本プラスチック製品工業協会会長に就任いたしました。

会員各位ならびに関係官庁、団体の皆様のご協力を今後もよろしく願います次第です。

当会は本年で53年を迎えます。私自身、このような長い歴史のある団体の会長に就任し、その責任の重さを痛感している所でございます。

又、当協会の役員一同は平成22年度の事業計画に基づき会の運営をしてまいります。経済環境については、一昨年のリーマンショック以降全世界が大きな傷を負い、ようやく持ち直しの兆しが見える昨今であります。(ギリシャ経済不安から欧州経済の先行き有り)

当協会も昨年緊急的に会費を半額に減額し、会員会社への負担の軽減も致しました。日本の政治においても民主党が政権を握り、自民党政権から民主党政権へと歴史上の大きな転換期を迎えて変化しようとしておりますが、今までの財政赤字に輪をかけた福祉関係費用の増大に伴う増税案が浮上し、特に石油関連事業に特別課税の動きがありました。我々の上部団体である連合会の素早い行動を含め今回は何とか増税は回避できましたが、今後法令化されれば国際競争力のみならず国内においても我々が本当に生き残れるとは思えません。当会メンバー全員が現状を経産省などとの意見交換が必要不可欠であります。

今年度は活動できる協会運営を目指して生きたいと思っております。

又、愛知県産業技術研究所、名古屋市工業研究所にて各種、講座、研修会の参加促進を図り各社の技術向上に支援をし、環境については、プラスチックのサーマルリサイクルの推進とカーボンフィットプリント対応など調査研究し、報告できるように致します。

最後に、会員の皆様のなお一層のご指導、ご鞭撻をお願いいたしまして、ご挨拶とさせていただきます。



再任のご挨拶

理事長 児玉 康彦

この度、第46回通常総会で引き続き理事長に再選され、一期2年間務めさせていただきます。

日頃は、組合事業活動にご指導ご協力を頂き、心より御礼申し上げます。役員一同今後も組合事業の推進に全力を尽くす所存でありますので、組合員各位をはじめ関係各位の皆様には従前にも増してご支援を賜りますようお願い申し上げ、さらには、事業への積極的な参加を心よりお願い致します。

景気はゆるやかに回復していると言われておりますが実感としては厳しさだけがあり、先行きの不透明さに不安があると思われま。こんな中でプラスチックによるもの作りを守っていくには、人材育成を更に力強く行っていかなければなりません。

組合では主な事業としてプラスチック射出成形及びブロー成形の技能検定実技試験の受託実施、技術講習会、学科講習会を行ってまいります。本年プラスチック射出成形1級・2級の検定実技受検者は937名と全国一位を誇っており、もの作り愛知の技能を重視する水準の高さがあると思われま。

技術委員会によるプラスチック成形の技術セミナー、工場見学会の実施を予定しております。

経営に役立つ各支部会、合同支部会への積極的な参加を強く要望いたし、情報交換、見学会等を通じて本音で参画できる組合活動を構築したいと思っておりますので、重ねて各支部会、合同支部会への参加をお待ちしております。

本年は、まだまだ厳しさが続くものと思われま。本年度は、組合事業推進に全員一丸となってまいりたいと思っております。関係各位、(賛助会員)、組合員、皆様方の更なるご協力、ご指導を心よりお願い申し上げます。

結びになりますが、皆様とご家族のご健勝とご発展を祈念致しまして、就任のご挨拶といたします。

(社)中部日本プラスチック製品工業協会

平成22年度 新役員

- ▽会 長 = 後藤 鉦一郎 (タイセイプラス)
 ▽副 会 長 = 大松 利幸 (岐阜プラスチック工業)
 鈴木 啓之 (鈴木化学工業所)
 横山真喜男 (東洋理工)
 磯野 正幸 (星和化成)
 ▽専務理事 = 葛谷 喜信 (事務局)
 ▽理 事 = 尾崎 浩一 (オプロ)
 木村 三郎 (則武化学)
 後藤 壽夫 (ゴトープラスチック)
 石原 富祥 (東海プラスチック工業)
 後藤 敏公 (みづほ合成工業所)
 尾原 成夫 (オハラ樹脂工業)
 瀬川 憲 (瀬川化学工業)
 伊勢村昌吾 (千代田合成)
 神谷 昭司 (三琇プレシジョン)
 児玉 康彦 (三扇化学)
 服部 和彦 (和泉化成)
 宇佐美教之 (ウサミ化成)
 前田 真 (山勝工業)
 中尾 純 (東洋化学)
 櫛田 安良 (宝永プラスチックス)
 塩谷 國明 (スター精機)
 増田 英輔 (山宗)
 柘植 崇 (笠置産業)
 ▽監 事 = 粕加屋幸三 (東郷製作所)
 加藤 正彦 (三洋製作所)



後藤 鉦一郎



大松 利幸



鈴木 啓之



横山真喜男



磯野 正幸



尾崎 浩一



木村 三郎



後藤 壽夫



石原 富祥



後藤 敏公



尾原 成夫



瀬川 憲



伊勢村昌吾



神谷 昭司



服部 和彦



宇佐美教之



前田 真



中尾 純



櫛田 安良



塩谷 國明



増田 英輔



柘植 崇



粕加屋幸三



加藤 正彦

BLOW MOLDING

Gp ゴトープラスチック株式会社

取締役会長 後藤 壽夫

〒452-0838 名古屋市西区長先町59番地
 TEL (052) 502-7671
 FAX (052) 502-6451
 Mail; t.goto@goto-plastic.co.jp



株式会社 三幸商会

取締役社長 若尾 剛

名古屋市千種区内山三丁目3番2号 〒464-0075

TEL (052) 733-5111(代) FAX (052) 733-5141

Sanko Shokai Co., Ltd

3-3-2, Uchiyama, Chikusa-ku, Nagoya, Japan

TEL : (052) 733-5111 FAX : (052) 733-5141

愛知県プラスチック成形工業組合

平成22年度 新役員

- ▽理事長 = 児玉 康彦 (三扇化学)
- ▽副理事長 = 原田 一雄 (三和ライト工業所)
- 福岡 正喜 (名豊化成)
- 井上 登永 (大喜プラスチック工業所)
- 中村 公彦 (大京化学)
- ▽専務理事 = 葛谷 喜信 (事務局)
- ▽理事 = 伊藤 義信 (伊藤プラスチック研究所)
- 後藤 壽夫 (ゴトープラスチック)
- 稲熊一二三 (笠寺プラスチック工業)
- 若山 嘉延 (藤和ライト工業)
- 青山 松夫 (兼弥産業)
- 官野 利昭 (大和電化工業所)
- 足立 和己 (足立ライト工業所)
- 江口 泰彰 (大成化工)
- 中西 信一 (日本クインライト)
- 後藤 鉦一郎 (タイセイプラス)
- 原田 正道 (中部エクストロン)
- 大塚 幸夫 (名古屋燐寸)
- 花井 敏真 (花井化成)
- 山田 政利 (愛和産業)
- 杉山 修平 (スギヤマプラスチック)
- 川西 正克 (川西塗装)
- ▽監事 = 水野 直幸 (大同ゴム工業)
- 小森 隆幸 (カネコ産業)



児玉 康彦



原田 一雄



福岡 正喜



井上 登永



中村 公彦



葛谷 喜信



伊藤 義信



稲熊一二三



若山 嘉延



青山 松夫



官野 利昭



江口 泰彰



中西 信一



原田 正道



大塚 幸夫



花井 敏真



山田 政利



杉山 修平



川西 正克



水野 直幸




小森 隆幸

取出用ロボット・FAシステムの総合開発



株式会社スター精機
名古屋支店
〒480-0132 愛知県丹羽郡大口町秋田3-133
TEL 0587(95)7557 FAX 0587(96)1291
浜松営業所 TEL 053(432)6131 富山出張所 TEL 076(492)3260
静岡出張所 TEL 054(289)2241
本社・工場 / 〒480-0132 愛知県丹羽郡大口町秋田3-133 TEL0587(95)7551(代)
出雲工場 / 〒699-0631 島根県簸川郡斐川町大字直江町3538 TEL0853(72)4311
<http://www.starseiki.com>

技術とハートがスパークする
ドラマチック創造企業
プラスチック、セラミックス、MIM金型



株式会社 三洋製作所
本社工場 名古屋市緑区鳴海町下汐田177番地
TEL052-621-5238 FAX052-621-3501

現状と課題など意見交換

中部地区業界団体代表者懇談会

6月2日名古屋国際ホテルで中部地区の各県業界団体の代表者が集まり、各県の業界の現状と課題等について意見交換を行った。

最初に中部経済産業局中島課長補佐と全日本プラスチック製品工業連合会服部会長より挨拶があり、その後、後藤（壽）前会長の司会で各県毎に意見が述べられた。

石川県プラスチック成型加工工業協同組合：馬場貢理事長

5県の中で売上げ、生産量が一番少ないのではないかと。現在22社が加盟しているが殆ど委託加工である。昨年理事長に就任し、全社22社訪問したが成形機の止まっている会社も多く、経営者の表情も暗く、改めて厳しさを実感した。後継者問題や仕事の確保ができないなど、廃業もあり2社脱退した。リーマンショック以降一時的に回復した時期もあり、現在は危機的状況は脱したかなと感じている。

富山県プラスチック工業会：笠井千秋会長

昭和37年から工業会として活動、現在会員数は80社である。富山県はプラスチック産業が集積している。自動車、電気関連が多くリーマンショックで大打撃を受けたが、一時より良くなりつつあるのかなと感じている。中でも医薬品関係は昔から盛んで現在も景気が良い。工業会の活動は啓蒙活動中心に活発に行っている。教育関係を中心に人材育成、経営支援、技能検定の射出成形の実技試験を実施している。富山県は押出成形業者が多く、3年前から工業

会独自資格として独自の基準を設定して押出成形の検定も実施している。早く国家検定の一職種として組み込まれ社員のモチベーションを高めたい。産官学の連携では、富山県、富山市、高岡市と情報交換を行っている。特に県工業技術センターとは交流が深く、新しい研究施設を建設中でその活用が期待される。行政への要望も業界を挙げて行った方が良い。この業界も企業数も多く、且つ規模が小さいため纏まりにくい。当工業会も県内の行動にとどまっている。国への要望ができる体制ができればと考えている。

岐阜県プラスチック工業組合：児玉栄一理事長

昨年理事長に就任し1年が経った。昨年1月には創立40周年記念式典を開催した。加盟企業数は85社、ピークは昭和58年の114社で右肩下がりが続いている。廃業も多い。自動車を中心に食器、電機部品、容器など特徴のある企業が多い。岐阜県も古田知事に代わってプラスチック産業が県の7大産業に取り上げられた。ただ県の担当部長曰く、プラスチック産業は多岐にわたりすぎているためプラスチックに特化した施策ができない。製品による業種の区分けが強いと指摘を受けた。国・県の補助金事業に対しては積極的に支援してもらっている。岐阜県には航空機産業など種はあるが開発から製品化まで3年位



意見交換を行う代表者ら

 **中央三井信託銀行**

名古屋支店 TEL.052-242-7311
〒460-0008 名古屋市中区栄3丁目15番33号栄ガスビル

 **第一実業株式会社**

本社 東京都千代田区二番町11-19 ☎102-0084 ☎ダイヤルイン・東京(03) 5214-8500
大阪支店 大阪市北区天満5丁目14番10号(梅田UNビル) ☎530-0047 ☎ダイヤルイン・大阪(06) 366-2800(受付案内台)
札幌支店 札幌市中央区南一条西3丁目8番地(札幌ビル) ☎066-0061 ☎(011)241-2435(代表)
名古屋支店 名古屋市中区錦2丁目3番4号(名古屋駅前フロントタワー) ☎460-0003 ☎(052)201-5471(代表)
広島支店 広島市中区中町8番12号(広島グリーンビル) ☎730-0037 ☎(082)248-0295(代表)
営業所 仙台・静岡・四国・福岡
出張所 滋賀・北関東

掛かり、その間お金にならないため中々ものにできないのが現状である。産官学の連携では岐阜大学金型創成技術研究センターと共同で事業を進めている。受託している技能検定の実技受検者が今年100名を超えた。景況感について、岐阜県中央会の会報ではプラスチックは良いとの結果がでていますが実感として感じられない。

愛知県プラスチック成形工業組合：児玉康彦理事長
現在160社が加盟しており、その90%位は自動車関連でその他電気、通信、食品など幅広く製造している。特に人材育成事業として技能検定に力を注いでおり、射出成形、ブロー成形、圧縮成形の実技試験を受託している。今年の射出1・2級の実技受検者は937名を数える。その他に名古屋市工業研究所との共同事業による技術者研修など実施している。愛知県の組合員は全て（社）中部日本プラスチック製品工業協会の会員で共同で実施する事業も多い。県認定の職業訓練校で通学制と通信制を実施している。各社の受注状況は理事会での皆さんの意見を集約すると7～8割回復したとの意見が多かった。

この後も業界の組織・団体の現状やあり方、今後の課題など将来に向けて活発に意見交換が行われた。

最後に進行役の後藤（壽）前会長の提案で、中部の業界団体の交流会を当協会が主となって今後も継続していくことが確認され、次回は石川県で開催することが決定した。

（出席者）

中部経済産業局産業部製造産業課課長補佐中島教雄、同総括係野村諭、全日本プラスチック製品工業連合会会長服部和彦、岐阜県プラスチック工業組合理事長児玉栄一、同事務局長大塚忠秋、富山県プラスチック工業会会長笠井千秋、同事務局長谷村実、石川県プラスチック成型加工工業協同組合理事長馬場貢、当組合理事長児玉康彦、当協会前会長後藤壽夫、同会長後藤鉦一郎、同専務理事葛谷喜信（順不同・敬称略）

新会長に五十嵐氏(神奈)

連合会通常総会

全日本プラスチック製品工業連合会第49回通常総会が6月3日午後3時から、ヨコハマグランドインターコンチネンタルホテルで開催され、39名が参加、当協会から10名が出席した。

服部会長の挨拶の後、第1・2号議案平成21年度事業報告・収支決算報告、第3号議案収支差額処分方法案が承認され、第4・5号議案平成22年度事業計画・収支予算案が原案通り可決承認された。最後に第6号議案役員改選が行われ、神奈川の五十嵐明迪氏が新会長に選任された。また、服部前会長は名誉会長、中部日本の後藤鉦一郎会長は副会長にそれぞれ任命された。

総会終了後、服部会長による「連合会47年間の活動を振り返って」と題してスライドショーが上映された。会長自らの手作りで設立から現在まで年代順に歴代会長や活動内容を紹介、資料としての価値も高い。

懇親会では来賓の経済産業省製造産業局化学課長高田修三氏が挨拶のなかで、退任する服部会長へはナフサをはじめ種々の問題に共に取り組み信頼関係が築かれた、五十嵐新会長にも業界の発展のため是非頑張っていたいただきたいと挨拶があった。他に藤田課長補佐の後任で新田渉課長補佐と薄井和善係長も同席された。

和やかに歓談が進むなか、後藤鉦一郎新副会長の中締めで閉宴となった。



新会長に就任した五十嵐明迪氏

中国・深圳地区研修視察

全日本プラスチック製品工業連合会

中部日本からは12名が参加

4月15日～18日、全日本プラスチック製品工業連合会（服部会長）の主催で中国・深圳地区の研修視察旅行が行われた。

東日本5名、神奈川3名、中部日本12名、西日本5名総勢25名で香港経由深圳に到着、16日から2日間で5社を研修視察の過密な日程ながら最後に香港の観光を楽しみ、有意義な旅行であった。

参加の皆さんから多くのレポートを寄稿頂きましたが、誌面の制約上、全文の掲載は出来ませんのでお許し下さい。

寄稿者は、坂田武士（ゴトープラスチック）、児玉真弥（三扇化学）、後藤登志雄（タイセイプラス）、原田繁樹（中部エクストロン）、伊東敬一（東海化学工業）、高柳敏弘・亀井智美（名豊化成）、鈴木啓之（鈴木化学工業所）、佐藤進（三協化成産業）、下嶋博生（ムラロン）の11名の方々です。（順不同、敬称略）



視察に参加した一行

4月16日（視察初日）

★ 華利達玩具礼品有限公司、売上高40億、従業員4000名弱、玩具成形、金型製造。

児玉：色付（塗装）の謎が解けた。やはり人の手で細かく手間をかけ生産して…社長の「社内にテーマパーク」をの夢は自分が失っている「夢を持つ」と言う事に気づかされ、叶え

る努力をして行きたい。

高柳・亀井：人件費や土地の安さが窺える。

ゆったりとしたスペースで作業が行われ品質も想像していた以上に悪くなかった。

鈴木：中国ローカルの企業らしく若い社長が自ら精力的に仕事の展開をされ、中国人の特徴を上手く使い感心させられた。

佐藤：多数の流れ作業で色付け、製品検査も同様に人海戦術で行っていた。



広大な工場



フィギアの色づけ

★ 中日龍電器製品（国盛化学深圳工場）

従業員4200名、成形機200台弱、成形、金型製造、メッキ、印刷など。

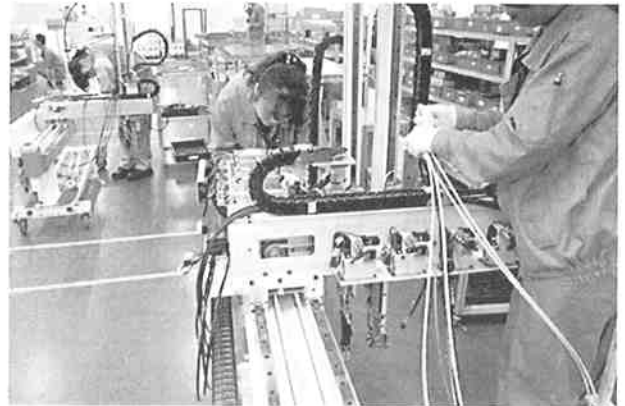
児玉：自動化や作業環境は日本と変わらなかった。創立1990年からの長い歴史・ノウハウを活かし益々発展する会社だという印象が多く残った。

高柳・亀井：作業員は中国人だが、日本の技術を取り入れた現場になっており、非常に効率の良い職場になっていた。

佐藤：成形から組立まで同じフロアで行っており、移動の無駄がなかった。



会社の沿革を聞く



組立て工場



生産されている一部の製品



工場内で担当者の説明を聞く



作業風景

★ 星精密機械 (スター精機深川工場)

産業用ロボット月産300台

児玉：人手不足と聞かされ中国経済の発展に伴う自動化が進んでいる事を脅威に思った。

佐藤：製品出荷時に梱包前の現物写真を付けて無傷等の証明する事に驚いた。

4月17日 (二日目)

★ 香港恒盛国際實業有限公司、金型製作、印刷、射出成形など

児玉：僅か4年で成形機が30台という急成長に驚かされた。

高柳・亀井：少し清潔感に欠ける部分があったが、検査はしっかり行われている。成形機(100トン)の価格が日本円で150万程度は驚き。建物外観の看板で月の最低賃金2000元(日本円約3万円)の募集は印象的だった。

佐藤：停電で成形は見れず残念だったが、組立は人海戦術で流れ作業で行っていた。



キーボードのキーの組付け